

目次

1. はじめに

- 1.1 Webコンソール画面(ログイン)
- 1.2 画面説明 (メインメニュー)
- 1.3 画面説明(各メニュー)(1/2)
- 1.3 画面説明(各メニュー)(2/2)

2. シナリオ説明

2.1 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ

3. 実行前準備

- 3.1 IaCの登録(1/3)
- 3.2 IaCの登録(2/3)
- 3.3 IaCの登録(3/3)
- 3.4 IaCを含むワークフローを作成
- 3.5 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

4. 実行操作

- 4.1 オペレーションの払出し
- 4.2 ターゲットとIaCの紐付け
- 4.3 ワークフローの実行

A 付録

- 参考① 【Ansible-Legacy】単体実行
- 参考② 【Ansible-Legacy】作業結果の確認
- 参考③ Symphony実行結果の確認方法
- 参考④ プレイブックサンプル集

1. はじめに





1.1 Webコンソール画面(ログイン)

Webコンソールログイン

●以下のURLへアクセスすると、ログイン画面が表示されます。 https://astroll-it-automation/

では、ログイン直後に パスワード変更を求められます。

POINT

astroll導入は
"astroll-インストール編_rev1.1.pptx"
をご参照ください。



1.2 画面説明

画面説明(メインメニュー)

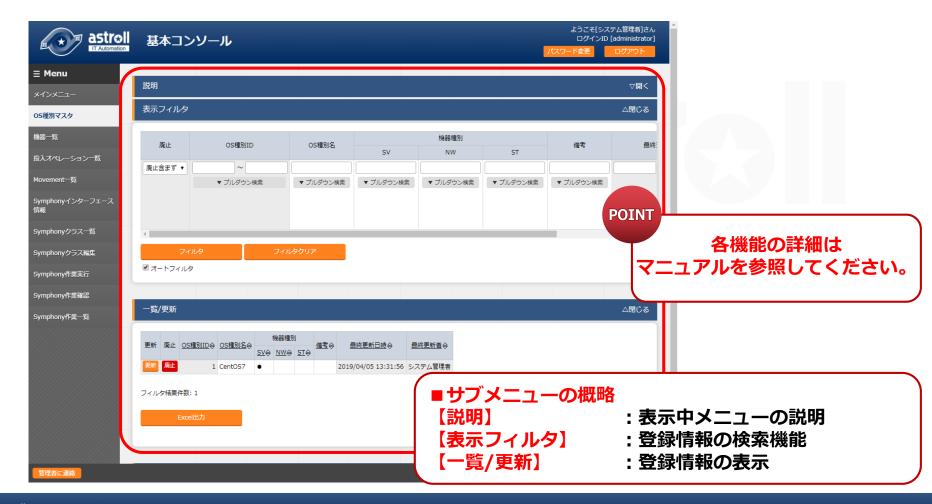
基本的な名称は以下の通り。



1.3 画面説明(各メニュー) (1/2)

画面説明(各メニュー)

■基本的な名称は以下の通り。



1.3 画面説明(各メニュー)(2/2)

画面説明(各メニュー)

基本的な名称は以下の通り。



2. シナリオ説明



2.1 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ

インストール後からAnsible-Legacyを実行するまでのシナリオ

●シナリオと、開発者/作業者の作業範囲について以下に示す。

POINT

 IaCの登録 (Movement)

 実行前準備

 IaCを含むワークフロー(Symphony)を作成

 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

 オペレーションの払出し

 ターゲットとIaCの紐付け
 繰り返します。

 ワークフローの実行

前準備としてIaCの登録やワークフローを作成し、 実行操作は登録済みのワークフローを繰り返し使用する。

3. 実行前準備



3.1 IaCの登録(1/3)

Movement一覧へ新規Movementを登録

●メインメニューより、「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「Movement一覧」と選択し、登録開始ボタンより登録作業を開始する。



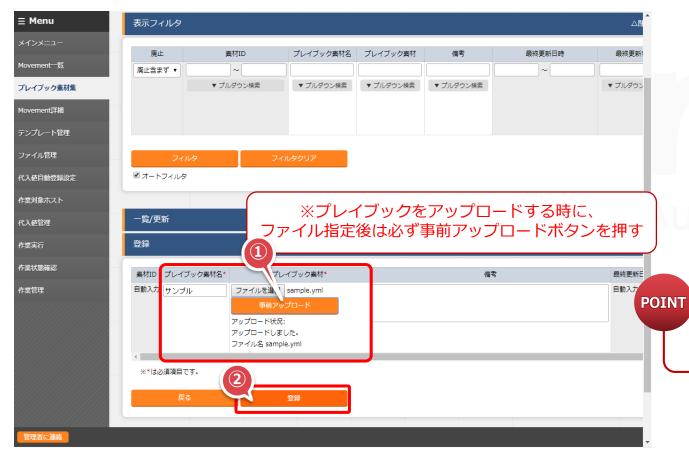
3.2 IaCの登録(2/3)

プレイブック素材集へ新規プレイブックを登録

●メインメニューより、「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「プレイブック素材集」を選択し、登録開始ボタンより登録作業を開始する。

※プレイブックを予め用意していない場合は、

後述の付録、「参考④」の中よりご使用ください。



IaCの登録

IaCを含むワークフローを作成

機器一覧にターゲットとなる
Linuxマシンを登録

オペレーションの払出し

ターゲットとIaCの紐付け

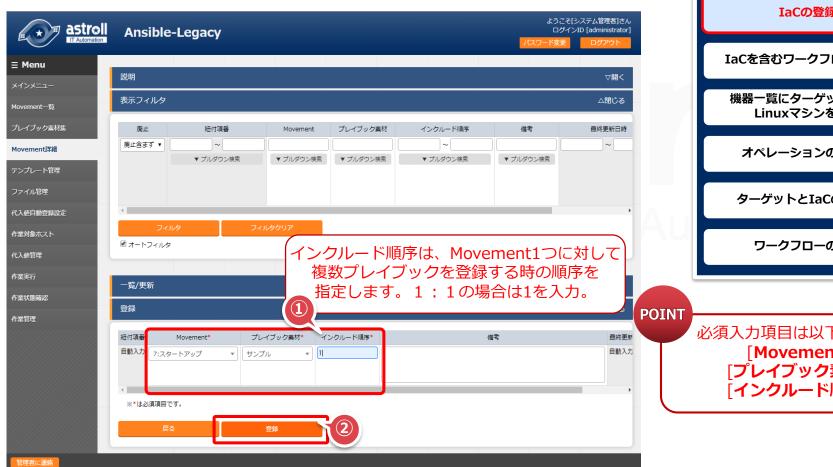
ワークフローの実行

必須入力項目は以下の2項目 [プレイブック素材名] 「プレイブック素材]

3.3 IaCの登録(3/3)

Movement詳細への登録

●メインメニューより、「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「Movement詳細」を選択し、登録開始ボタンより登録作業を開始する。



IaCの登録 IaCを含むワークフローを作成 機器一覧にターゲットとなる Linuxマシンを登録 オペレーションの払出し ターゲットとIaCの紐付け ワークフローの実行

必須入力項目は以下の3項目 [Movement] 「プレイブック素材] 「インクルード順序]

3.4 IaCを含むワークフローを作成

- Symphonyクラス編集ワークフローを作成
 - ●メインメニューより「基本コンソール」>>「Symphonyクラス編集」を選択する。



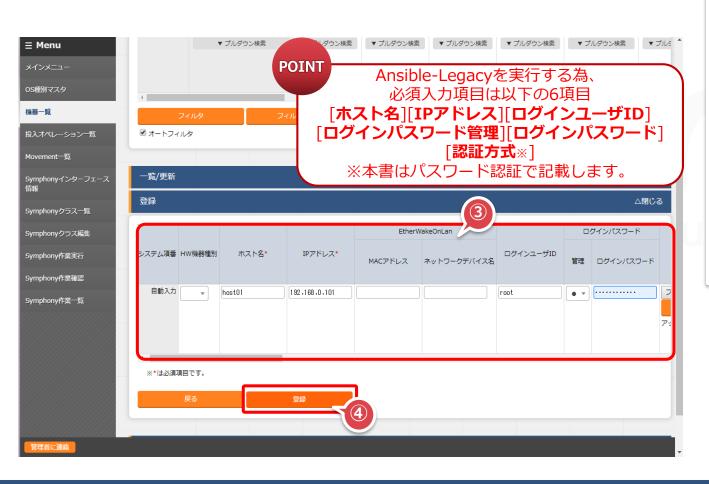
astroll – IT Automation

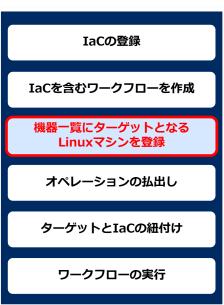
14

3.5 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

機器一覧へ新規ターゲットホストの登録

●メインメニューより、「基本コンソール」メニューグループ >> 「機器一覧」メニューを選択し、登録開始ボタンより登録作業を開始する。





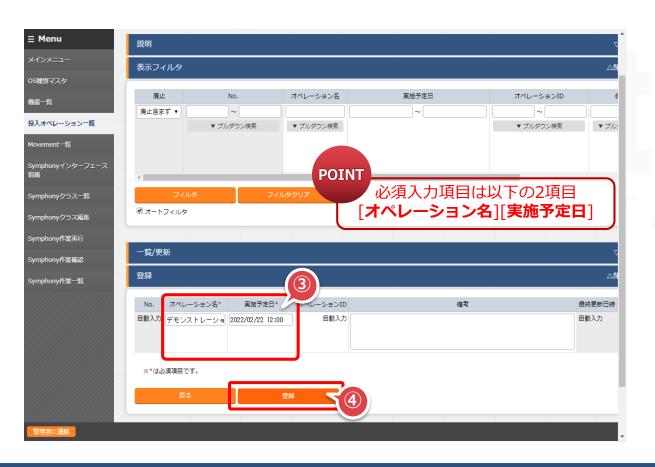
4. 実行操作

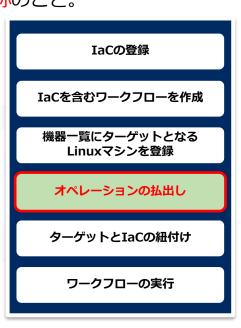


4.1 オペレーションの払出し

投入オペレーション一覧へ新規オペレーション名を登録

●メインメニューより、「基本コンソール」メニューグループ >>
「投入オペレーション一覧」メニューを選択し、登録開始ボタンより登録作業を開始する。
※オペレーションとは、作業全体を示すastrollシステム内で使用する作業名称のこと。





4.2 ターゲットとIaCの紐付け

| 作業対象ホストへの登録

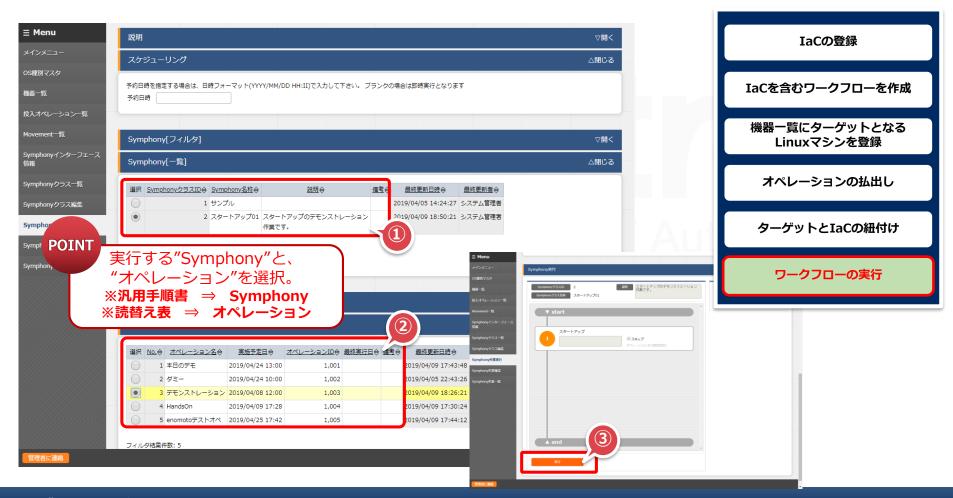
●メインメニューより、「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「作業対象ホスト」を選択し、登録開始ボタンを実行し登録作業を開始する。



4.3 ワークフローの実行

Symphonyの実行

●メインメニューより「<mark>基本コンソール</mark>」>>「Symphony作業実行」を選択する。



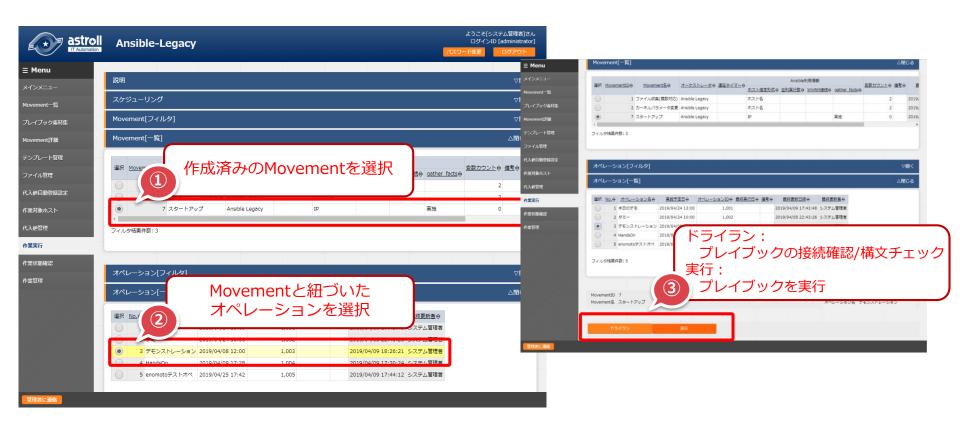
A 付録



参考① 【Ansible-Legacy】単体実行

作業実行

● Ansible-Legacyは「作業実行」メニューがあり、Movementごとに 個別実行や、ドライランが可能となっている。



参考② 【Ansible-Legacy】実行確認

作業結果確認

実行(またはドライラン)すると画面が切替わり、実行ステータスや、ログが表示される。



参考③ Symphony実行結果の確認方法

- Symphony作業一覧で実行結果を確認
 - ●メインメニューより「基本コンソール」>>「Symphony作業一覧」を選択する。



参考④ プレイブックサンプル集

(Linuxサーバ向けの)サンプルプレイブック

●以下のプレイブックはサンプルとなります。そのままでもご利用いただけますが、赤字箇所は任意でご変更ください。

※文字コードは"UTF-8"、改行コードは"LF"、拡張子は"yml"形式。また、インデントにご注意下さい。

- name: Make Work Directory demonstration

file:

path: /tmp/demodirectory

state: directory mode: 0755

point /tmp配下に"demodirectory"という ディレクトリが作成されます。

- name: Sample User add

user:

name: astroll createhome: no

uid: 4401 group: users

- name: Collect Files fetch:

src=/etc/hosts

dest={{ __workflowdir__ }}/{{ inventory_hostname }}

flat=yes

point

astrollユーザが作成されます。 動作確認後はユーザを削除ください。

下記の定義はastrollサーバに ファイルを持ち帰る時に使用する 予め用意された予約変数となります。

{{ __workflowdir__ }}/{{ inventory_hostname }}

point

/etc/hostsファイルを収集します。 収集ファイルは結果データの zipファイル内に収集されます。

